

**2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

2021年2月10日

上場会社名 株式会社ミライト・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 1417 URL <https://www.mirait.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 俊樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 塚本 雅一 (TEL) 03-6807-3124  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

**1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	304,459	5.5	15,434	70.3	16,998	64.0	13,934	121.0
2020年3月期第3四半期	288,507	25.4	9,064	△8.1	10,362	△4.5	6,304	△27.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 12,267百万円( 42.7%) 2020年3月期第3四半期 8,597百万円( 22.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	130.54	—
2020年3月期第3四半期	63.31	—

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	323,756	218,005	66.0
2020年3月期	352,134	218,710	61.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 213,520百万円 2020年3月期 215,423百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	22.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	445,000	0.9	23,000	4.6	24,300	4.7	18,000	18.3	170.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	108,325,329株	2020年3月期	108,325,329株
2021年3月期3Q	6,907,140株	2020年3月期	958,390株
2021年3月期3Q	106,742,903株	2020年3月期3Q	99,581,911株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当四半期決算の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当四半期決算の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 今後の見通し .....	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期決算の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、厳しい状況で推移いたしました。今後につきましても、新型コロナウイルス感染症の再拡大から、2021年1月には2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、依然として収束時期が見通せない状況にあり、先行き不透明な状況が継続することが懸念されております。

当社グループを取り巻く事業環境については、年度前半は活動自粛や工事部材の納入遅れなどにより、一部工事の進捗が遅れたほか、新規受注の獲得にも影響が生じておりましたが、現在は正常化しつつあります。また、短期的には新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う事業への影響が懸念されるものの、中長期的には、第5世代移動通信システム(5G)によるサービス拡大のほか、オンライン授業やテレワークの浸透などに伴う新たなICTソリューションに対するニーズの高まりに加え、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー政策の推進が期待されております。

こうしたなか、当社グループは、「総合エンジニアリング&サービス会社」として人々の生活を支える社会インフラを構築するため、通信事業各社をはじめとするお客様と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら事業活動を継続するとともに、当社グループ自身の働き方改革の進展と事業運営の効率化にも取り組んでおります。

当第3四半期は、NTT事業における設備運營業務の増加やテレワークの拡大などに伴うアクセス工事の増加、マルチキャリア事業における楽天モバイル向け工事の増加などに加え、環境・社会イノベーション事業における空調工事の増加、ICTソリューション事業における学校向けPC・サーバーやモバイル関連の工事部材等物販の増加などにより売上高の拡大を図るとともに、業務効率化の推進による利益率の維持・向上に努めました。

一方、当社及び連結子会社である(株)ミライト、(株)ミライト・テクノロジーズの3社の合併(目標:2022年度早期)に向けた検討を開始するなど、事業環境の変化に対応した事業構造の転換を加速しております。

また、株主還元の充実と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の一環として、当第3四半期において自己株式の取得(合計600万株、95億7千万円)を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績につきましては、受注高は3,512億6千5百万円(前年同四半期比5.0%増)、売上高は3,044億5千9百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業利益は154億3千4百万円(前年同四半期比70.3%増)、経常利益は169億9千8百万円(前年同四半期比64.0%増)となりました。なお、政策保有株式の売却もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は139億3千4百万円(前年同四半期比121.0%増)となりました。

### (2) 当四半期決算の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、未成工事支出金等が増加したものの、完成工事未収入金等の売掛債権が減少したことにより前連結会計年度末と比べて283億7千7百万円減少し3,237億5千6百万円となりました。

負債は、短期借入金や工事未払金等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ276億7千2百万円減少し1,057億5千1百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益139億3千4百万円の計上があったものの、配当金の支払い45億8千2百万円、自己株式の取得95億7千万円等があったことにより、7億5百万円減少し2,180億5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は66.0%(前連結会計年度末は61.2%)となりました。

## (3) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、政策保有株式の売却に伴い、当第3四半期連結累計期間において投資有価証券売却益の計上を行ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益を180億円（前期比18.3%増）と前回発表予想（2020年11月12日公表）を上方修正いたします。

なお、売上高、営業利益、経常利益につきましては、前回発表予想から変更はありません。

## 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 445,000	百万円 23,000	百万円 24,300	百万円 16,000	円 銭 148.97
今回修正予想(B)	445,000	23,000	24,300	18,000	170.72
増減額(B-A)	—	—	—	2,000	—
増減率(%)	—	—	—	12.5	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	441,166	21,993	23,207	15,220	149.93

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用の算定については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,543	38,530
受取手形・完成工事未収入金等	147,584	106,391
未成工事支出金等	32,758	47,983
リース投資資産	6,123	5,493
その他	5,798	5,325
貸倒引当金	△96	△46
流動資産合計	225,712	203,678
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	38,948	38,216
土地	32,806	32,785
建設仮勘定	1,383	4,180
その他(純額)	9,457	9,333
有形固定資産合計	82,596	84,516
無形固定資産		
顧客関連資産	1,943	1,767
のれん	2,921	3,547
ソフトウェア	1,729	1,579
その他	118	117
無形固定資産合計	6,711	7,012
投資その他の資産		
投資有価証券	30,139	22,115
退職給付に係る資産	1,967	1,168
繰延税金資産	2,081	2,272
敷金及び保証金	1,385	1,432
その他	1,687	1,725
貸倒引当金	△147	△165
投資その他の資産合計	37,114	28,549
固定資産合計	126,422	120,078
資産合計	352,134	323,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	58,738	50,608
短期借入金	16,789	2,200
未払法人税等	3,281	2,838
リース債務	3,371	3,335
未成工事受入金	4,670	4,601
工事損失引当金	959	1,306
賞与引当金	7,515	3,603
役員賞与引当金	120	70
完成工事補償引当金	7	6
その他	9,284	12,891
流動負債合計	104,738	81,464
固定負債		
長期未払金	213	1,431
リース債務	7,607	6,733
繰延税金負債	1,650	418
再評価に係る繰延税金負債	41	41
役員退職慰労引当金	128	120
株式報酬引当金	282	285
退職給付に係る負債	17,635	14,311
資産除去債務	172	173
その他	953	771
固定負債合計	28,685	24,287
負債合計	133,424	105,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	69,399	69,471
利益剰余金	135,546	144,968
自己株式	△1,386	△10,887
株主資本合計	210,559	210,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,967	3,775
土地再評価差額金	△98	△98
為替換算調整勘定	△281	△1,203
退職給付に係る調整累計額	276	493
その他の包括利益累計額合計	4,863	2,967
非支配株主持分	3,287	4,484
純資産合計	218,710	218,005
負債純資産合計	352,134	323,756

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
完成工事高	288,507	304,459
完成工事原価	257,268	266,916
完成工事総利益	31,239	37,542
販売費及び一般管理費	22,175	22,107
営業利益	9,064	15,434
営業外収益		
受取利息	81	42
受取配当金	905	970
為替差益	—	284
保険解約返戻金	87	102
持分法による投資利益	69	—
その他	358	329
営業外収益合計	1,501	1,729
営業外費用		
支払利息	36	32
持分法による投資損失	—	59
為替差損	30	—
その他	137	73
営業外費用合計	204	165
経常利益	10,362	16,998
特別利益		
固定資産売却益	402	16
投資有価証券売却益	26	4,277
退職給付制度改定益	—	271
その他	—	3
特別利益合計	429	4,569
特別損失		
固定資産除却損	28	105
投資有価証券売却損	57	5
投資有価証券評価損	3	59
その他	72	74
特別損失合計	162	244
税金等調整前四半期純利益	10,629	21,323
法人税等	4,153	7,161
四半期純利益	6,476	14,161
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,304	13,934
非支配株主に帰属する四半期純利益	171	227



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,832	△1,190
為替換算調整勘定	△618	△921
退職給付に係る調整額	△88	216
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	0
その他の包括利益合計	2,120	△1,894
四半期包括利益	8,597	12,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,431	12,057
非支配株主に係る四半期包括利益	165	229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年12月1日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、当社普通株式6,000,000株を総額9,570百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。